

だい きさいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ぶかい
第5期幸区区民会議第1回専門部会（A部会）

ぎ じ し だい
議 事 次 第

にちじ ねん がつ にち すい じはん
日時 2014年10月1日（水）18時半から
ばしょ さいわいくやくしよ かいこうどう
場所 幸区役所4階講堂

1 かいかい
開会

2 ぎだい
議題

(1) せいふくぶかいちよう せんしゆつ
正副部会長の選出について

(2) しんぎて ーま せんてい
審議テーマの選定について

(3) ぶかいめい けつてい
部会名の決定について

(4) こんご すけじゅーる
今後のスケジュールについて

3 そのた
その他

4 へいかい
閉会

はいふしりよう
《配布資料》

しりよう 1 しんぎて ーま こうほあん かんするげんじよう とりまとめ
資料1 審議テーマ候補案に関する現状の取りまとめについて

しりよう 2 しんぎて ーま せんてい かんがえかた
資料2 審議テーマを選定するにあたっての考え方について

しりよう 3 だい きさいわいくくみんかいぎ すけじゅーる あん
資料3 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）

さんこうしりよう だい きさいわいくくみんかいぎしんぎて ーま かんするいいん いけん
参考資料 第5期幸区区民会議審議テーマに関する委員からの意見

【本日の目標】
部会の「審議テーマ分野」を決める！

審議テーマ候補案に関する現状の取りまとめ（A部会）

審議テーマ 分野	委員提案要旨	川崎市・幸区で実施されている主な取組	他区・他都市における主な先行事例 (資料参照)	関連する近年の社会動向
1 交通安全 対策の推進	(1) 自転車等の交通マナーの向上 (2) 交通ルールの周知・徹底 (3) 歩道等のバリアフリー化	ア 川崎駅周辺、新川崎地区に自転車レーンを整備 イ スケアードストレート方式を活用した交通安全教室 ウ 自転車マナーアップキャンペーンの実施 エ 清掃車を活用した自転車ルール順守の呼びかけ オ 交通安全ビデオの貸出(市) カ 自転車マナーアップ指導員の巡回(市) キ 自転車安全運転者証(市)	(ア) 「交通安全母の会」による、交通事故発生箇所、見通しの悪い道等を記した「小学校区別セーフティマップ」の作成(麻生区) (イ) 「ホンダ」による、カーナビデータを活用したセーフティマップの公開 (ウ) 市民活動団体「おかもやま自転車ネット」による、自転車マップの制作や、自転車に関する講演会、ワークショップ等の啓発活動の実施(岡山県)	a 自転車による重大事故の多発 b 加害事故に対する賠償責任 (2013 小学生保護者への高額賠償命令) c 道路交通法の改正(2013 自転車の路側帯の左側通行)
2 環境美化 活動の推進	(1) 街の緑の維持管理 (2) 路上喫煙・ポイ捨て禁止の徹底 (3) ゴミ出しルールの周知・徹底	ア 「さいわい花クラブ実行委員会」による花壇整備 イ 「ゴミ分別ゲーム」の実施 ウ 「資源集団回収ガイド」の配布 エ 隣接区との連携による「路上喫煙等防止キャンペーン」の実施 オ 「公園緑地愛護会」「管理運営協議会」による公園管理(市) カ 「街路樹愛護会」による道路除草清掃(市) キ ごみ相談窓口の開設(市) ク 出前ゴミ講座の実施(市) ケ 廃棄物減量指導員による啓発(市) コ 路上喫煙防止指導員による指導(市)	(ア) 市民活動団体「あさお落書き消し隊」による落書き消し(麻生区) (イ) 「JT」による、駅周辺への喫煙スポットの設置と、「めじろ台一丁目町会」による維持管理(八王子市)	a 倒木・枯れ枝落下の発生 (2013, 2014) b 路上喫煙防止条例、「ポイ捨て禁止条例」による規制 c ミックスペーパーの回収 (2011)、ゴミ収集回数減 (2013)
3 地域の 防犯力の 向上	(1) 防犯カメラの設置 (2) 街灯の設置等による通学路の安全性向上 (3) 落書き消しの実施	ア 防犯カメラ設置に係る補助金(町内会等向け：県、商店街向け：市) イ あいさつ運動の実施 ウ 「わんわんパトロール」の実施 エ 「子ども110番」の実施(市) オ 出張防犯相談コーナー(市) カ 住宅防犯無料診断(市) キ 防犯灯電気料・補修費補助(市)	(ア) 「ダイドードリンコ」による防犯カメラの設置と、「鷺沼町会」による管理(宮前区) (イ) 「地域安全マップづくり」の推進(広島県) (ウ) 手作り地域安全マップの作成と防犯パトロール(北九州市)	a 連れ去り等の子供を狙った 犯罪の多発 b 落書きが散見されることによる街の雰囲気悪化
4 地域防災 活動の推進	(1) 災害時の「自助」「共助」の強化 (2) 建物の耐震性向上 (3) 災害時の避難路の確保	ア 避難所開設・運営訓練の実施 イ 「子ども安心安全・防災フェア」の開催 ウ 「マイ防災マップ」づくりの普及 エ 総合防災訓練の実施(市) オ 「マンション耐震診断補助制度」「耐震改修助成制度」 カ 「宅地防災工事助成」(市) キ 「防災マップ(多言語あり)」「津波ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」(市)	(ア) 「三井杉田台自治会」による、防災家族カードを活用した取り組み(磯子区) (イ) 「加古川グリーンシティ防災会」による、災害時の共助のための人材の情報共有システム(加古川市) (ウ) 防災活動団体の情報提供と活動支援「防災隣組」(東京都) (エ) 市民活動団体「防災を考える会」による、小学校と連携した防災カルタの作成等(平塚市) (オ) 市民活動団体「防災一座」による、乾パン等をアレンジしたレシピの開発、実習等(四日市市) (カ) 防災運動会の開催(姫路市)	a 東日本大震災による防災意識の高まり b 異常気象による水害等の多発 c 「マンション建て替え円滑化法」改正(2014)

ほかく たとし せんこうじれい ほそくせつめい
「他区・他都市における先行事例」補足説明

1 交通安全対策の推進

(1) 「交通安全母の会」による、小学校区別セーフティマップ（麻生区）

- 平成23年度に「麻生区交通安全母の会」の30周年事業として作成
- 作成にあたっては、校外委員にヒアリングを実施
- 2012年度は小学1～3年生に、2013年度、2014年度は小学1年生に配布

(2) 「ホンダ」による、カーナビデータを活用したセーフティマップ

- 2012年度より、カーナビから取得した急ブレーキ多発地点データ等を地図にプロットしたものをインターネット上で公開

(3) 「おかやま自転車ネット（市民活動団体）」による自転車マップの作成等（岡山県）

- 自転車が行きやすい歩道等の情報をまとめた自転車マップを作成・公開
- 市や警察、国道事務所等と連携し、マナーやルールの周知のためのイベント等の実施を通して、自転車利用の促進と、自転車を利用しやすいまちづくりに向けた活動を実施

2 環境美化活動の推進

(1) 「あさお落書き消し隊（市民活動団体）」による落書き消し（麻生区）

- 「新百合ヶ丘駅周辺景観形成協議会」と「麻生まちづくり市民の会」の会員により結成された住民組織で、2005年から活動を行っている。
- 新百合ヶ丘駅の周辺や住宅地の落書きを消すため、一般参加者も募り、落書き消しに取り組んでいる。

(2) 「JT」による駅周辺への喫煙スポットの設置と、「めじろ台一丁目町会」による維持管理（八王子市）

- めじろ台駅周辺のタバコのポイ捨て対策のため、地元町会より相談を受けた八王子市が、JTの協力を得て、駅前喫煙スポットの設置を行った。市とJT、町会が協定を結び、喫煙の維持管理は、町会が行っている。

3 地域防犯力の向上

(1) 「ダイドードリンコ」による防犯カメラの設置と、「鷺沼町会」による管理（宮前区）

- 町会と飲料メーカーが連携し、防犯カメラを設置
- カメラの維持管理費は、隣接して設置される自動販売機の売り上げによりまかなわれている。
- 町会はカメラの管理を行う。

(2) 「地域安全マップづくり」の推進（広島県）

- 地域で、子供達が参加するワークショップを開催し、危険のある箇所等の情報を載せたマップづくりを行っている。インターシップの大学生等のボランティアも募り、社会活動としても実施。

(3) 「手作り地域安全マップ」の作成と「子供の見守り活動」(北九州市)

- ・警察や自治会など関係機関・団体が連携し、地域での「子供の見守り活動」を実施している。
- ・市内全小学校では、「手作り地域安全マップ(通学路安全マップ)」の作成に取り組んでいる。また、「手作り地域安全マップ作成マニュアル」を作成し、講習会等を行っている。

4 地域防災活動の推進

(1) 「三井杉田台自治会」による、「防災家族カード」を活用した取り組み(磯子区)

- ・防災の取り組みとして顔の見える関係づくりを重視し、30年ほど前から「防災家族カード」を作成、災害時の基礎情報として活用している。

(2) 「加古川グリーンシティ防災会」による、災害時の共助のための人材の情報共有(加古川市)

- ・マンションからなる加古川グリーンシティでは、共助の取り組みとして、事前に看護師、大工等の、マンションに住む様々な職業の人の情報を共有し、災害時に備る「ちからこ部」というシステムを実施している。

(3) 防災活動団体の情報提供と活動支援「防災隣組」(東京都)

- ・東京都では、意欲的に防災活動を行っている団体を「東京防災隣組」として認定し、活動を広く紹介することで、各地域のさらなる取り組みを促し、また、新たな取り組みの誘発を図っている。

(4) 「市民活動団体「防災を考える会」による、小学校と連携した防災カルタの作成等(平塚市)

- ・「防災かるた」の作品公募やかるた作製会、かるた大会等を実施し、子どもたちが楽しみながら防災について学ぶ機会を設けている。

(5) 市民活動団体「防災一座」による、乾パン等をアレンジしたレシピの開発、実習等(四日市市)

- ・乾パン等をおいしく食べるためのレシピづくりや実習、試食会を行うなど、「食」を通じた身近な防災の取り組みを実施している。

(6) 防災運動会の開催(姫路市)

- ・「まもりんピック姫路」として、「担架作成・搬送競技」「防災障害物・情報伝達競技」「水バケツリレー競技」「防火・防災〇×クイズ」を実施している。

しんぎ て — ま せんてい かんがえかた
審議テーマを選定するにあたっての考え方について

<p>こうもく 項目</p>	<p>ないよう 内容</p>
<p>1 きょうどうせい 協働性</p>	<p>くみん しゆたい ぎょうせい きょうどう おこなう 区民が主体となり、行政と協働して行うにふさわしいものか</p>
<p>2 じつげんせい 実現性</p>	<p>くみんかいぎ ちょうさしんぎ ぐたいてき かいけつさく み 区民会議での調査審議により、具体的な解決策が見いだせるか</p>
<p>3 ひつようせい 必要性</p>	<p>くみん かんしん たかく かいけつ のぞ 区民の関心が高く、解決が望まれているものか きぞん ぎょうせい くみんかつどう とりくみ ふじゅうぶん 既存の行政や区民活動では取り組みが不十分なものか</p>
<p>4 きんきゅうせい 緊急性</p>	<p>すみ かいけつ はか くみんせいかつ じゅうだい ししょう しょう 速やかに解決を図らないと区民生活に重大な支障が生じることが よそう 予想されるか</p>
<p>5 こうへいせい 公平性</p>	<p>とくてい たいしょう ちいき かたよ おおく くみん かが かだい 特定の対象や地域に偏ることなく、多くの区民に関わる課題か</p>

だい きさいわいくくみんかいぎ あん ねん がつ にちじてん
 ●「第5期幸区区民会議」スケジュール案(2014年9月30日時点)

	2014年度												2015年度												2016年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月			
<p>■ 区民会議 (全体会議)</p>	第1回 7月31日			各専門部会の審議テーマ、 方向性等の確認等		第2回 12月3日			第3回	各専門部会の審議・取組状況等 の確認等			第4回	各専門部会の審議・取組状況等 の確認 フォーラム実施の確認等		第5回	提言内容の確認 ・フォーラム実施内容の 確認等		第6回						
<p>■ 企画運営会議 全体会議の前に開催し、 事前に内容を確認する。</p>					第1回			第2回					第3回				第4回			第5回					
事前説明会 全体会議における調査審議事項の確認、調整																									
<p>■ 専門部会 A部会</p>			第1回 10月1日	第2回 10月31日		第3回	第4回	第5回		第6回	第7回	第8回		第9回	第10回	第11回		第12回	第13回						
<p>B部会</p>			第1回 9月30日	第2回 10月28日		第3回	第4回	第5回		第6回	第7回	第8回		第9回	第10回	第11回		第12回	第13回						
審議テーマ、部会名、正副部会長 等の検討 実施調査、取組内容の検討等 提言内容の検討等 具体的な審議・取組の方向性等 の検討																									
第5期区民会議のフォーラムの開催																									
報告書のとりまとめ																									

だい きさいわいくみんかいぎしんぎてーまにかんするいいんからのいけん
第5期幸区区民会議審議テーマに関する委員からの意見

分類	ちいき かだい かいけつ む きょうぎ じこう 地域の課題として、解決に向けて協議したい事項		ちいき かだい かいけつ あいであ 地域の課題を解決するためのアイデアや		いいんめい 委員名		
	ごんるい 分類	こうもく 項目	ないよう 内容	ほか ちいき すで とく じれい 他の地域で既に取り組んでいる事例			
1	交通 安全 対策 の 推進	自転車 のマナー の 向上	●自転車を利用する人が多いが、道が狭く、歩道を走ら め、人とぶつかり危ない。	●自転車専用道路を設置し歩行者と接触をさける。例とし て栄通りはバスが通り、両方向自動車が行くが自転車が 走りづらい。	いいじま ただお 飯島 忠男		
			●啓発活動の強化	●ラゾーナ川崎など大型商業施設にて自転車交通マナー のリーフレットや小冊子などの配布やクイズ形式の 参加型イベントの開催、事故の映像を流し見てもらうよう なイベントで啓発を促す。		こんどう たえ 近藤 多恵	
			●法規改正などもあり、この課題は継続性を持って、他の 団体と協調し、取り組む必要がある。				にし の きやういち 西野 恭一
			●自転車通勤者と歩行者の事故を防止する。特に、踏切 横断時に、接触事故が多い。	●踏切を自転車で通行する人は、事故防止のため下車し て渡るようにする。			
●交通ルールを無視した自転車走行による危険の排除	●小、中、高校における自転車交通ルールの講習 ●町内会・自治会、老人会等における自転車交通ルール の講習 ●街頭における自転車交通ルールのチラシ配布 ●各種方法による自転車交通ルールの周知活動後 …街頭における指導実践(当初は無罰指導) …事前広報後の取締りの実施	ささき しげる 佐々木 繁					
●狭い道路において自転車の車道右側通行が見受けられ る。正面衝突や車両と接触の危険「ハラハラ」「ドキッ」が多 く見受けられる。これを改善しないと死亡事故が増える。	●定期的に警察と連携し継続的な交通指導運動を行う。 ●地域の団体等に危険な道路を抽出してもらい、重点 地域、一番良い解決方法を考える。		あべ のりひろ 阿部 法弘				
●小中学生の自転車運転の規則が行き届いていないため、 年配者が危険な思いをしたという話をよく聞く。	●小中学生のための自転車安全運転の講習を警察が開い てほしい。			にしもと 西本 まるとにあ マルドニア			
●信号のない横断歩道で歩行者がいても自動車は無視して 通っていく	●警察官による取締り強化 ●児童通路の監視員による指導				いいじま ただお 飯島 忠男		
●狭い道幅に加えて、車両進入のための切り下げによる 凹凸の多発により高齢者・身障者の歩行の危険性が高く ベビーカー等の走行も困難になっている。	●委員の実査による実態把握 ●歩道の構造変更(セミフラット化)による切り下げ不要 ●電柱に近接するバス停の移動 ●電線の地中化推進	ささき しげる 佐々木 繁					
●街路樹、植え込み、花壇等の手入れの間隔が長すぎて見 た目が悪い。	●植え込み等の手入れは、シニアのボランティアを活用す る。		おおさわ よしかず 大澤 義和				
●路上喫煙禁止地区において、いまだ多くの喫煙者がいる。 本来巡視員なり指導員の姿があつたりと思うが、見か けたことはほとんどない。看板や路上に貼られたプレートが 破損していたり、目立たなかつたりする。	●きちんと決めたことは守られるように、目立つ場所に目立 つように看板を再設置するとともに、破損箇所は 修繕復旧を行う。 ●定期的に路上喫煙及びポイ捨て禁止を呼び掛ける運動 を行う。一時的では効果がありません。継続的に行う。			あべ のりひろ 阿部 法弘			
●ごみ置き場のゴミが収集されず何時間も放置状態になっ ている。 ●自転車、オートバイ、家電製品の不法投棄	●ごみは10時までには収集する。または夜間に収集す る。				おおさわ よしかず 大澤 義和		
●収集箱が無いため、歩行者用道路にゴミ袋を置いている が、一応ネットはかけても、カラスが生ゴミをあさって、袋を 引き出し、生ゴミが散乱しているのをよく見かける。 美化環境のためにも、また衛生上にも問題がある。	●堅固で大きな収集箱を設置してもらいたい。	にしもと 西本 まるとにあ マルドニア					
●樹木の枝下ろし、雑草の刈込	●道路公園センターで春秋2回剪定をするよう依頼要請		さとう れいぞう 佐藤 例蔵				

分類	ちいき かだい かいけつ む きょうぎ しこう 地域の課題として、解決に向けて協議したい事項		ちいき かだい かいけつ あいであ 地域の課題を解決するためのアイデアや ほかにちいきすでとく じれい 他の地域で既に取り組んでいる事例		いいんめい 委員名
	こうもく 項目	ないよう 内容			
地域の 防犯力の 向上	15	●商店街などには防犯カメラがかなり設置されているが、住宅地にも設置することができないか。	●行政からの補助を強化する。		おおさわ よしかず 大澤 義和
	16	●市民生活の安全に役立つ防犯カメラについて、幸区内の状況はどの様になっているのか。増設はできるのか、提案したい。	●最近防犯カメラのシールが貼られているが、あまり周知されていない様なので、広報と増設についての検討をしていきたいと思う。		まつい せつこ 松井 節子
	17	●通学路整備による児童歩行上の安全性向上と犯罪の防止	●委員の実査および小学校教員、PTA、学童との意見交換による問題点の把握 ●外灯の整備、防犯カメラ・非常発信機の設置等 ●防犯上死角となる障害物、植栽の除去、その他		ささき しげる 佐々木 繁
	18	●歩道に設置された東京電力の配電盤など、至る所に落書きされている。	●落書き消しを地域の行事として定期的に行うことで「安心」「安全」なまちづくりに役立てる。 ●整理整頓、清掃するという行為は、防犯にもつながることから、落書き消しについて、警察署も積極的に協力してくれるとのこと。		おしやま かねつぐ 押山 兼二
地域防災活動の 推進	19	●自助に力を入れた防災対策	●広報誌で『防災に備えよう』コーナーを設け、役に立つ情報・豆知識などを実際の震災(災害)体験から、これは使えるという事を紹介する。		こんどう たえ 近藤 多恵
	20	●まず自分の身は、自分で守る。最低一週間位の水などの蓄えの推進。			にし の きょういち 西野 恭一
地域防災活動の 推進	21	●3.11の東日本大震災で、防災意識が高まっているのに、住民に地域避難所の運営等、内容や自主防災組織についての情報が周知されていない。	●自主防災組織の活動状況調査、育成 ●地域避難所の運営 ●防災器具や備蓄の状況調査 ●学校、生徒との連携 ●災害時、災害後の情報発信について		むらた せいこ 村田 清子
	22	●新築マンションは耐震性のあるものに。一般家屋の耐震性では倒壊の恐れあり。	●地震への対応を心がまえし、命を大事にする啓蒙 ●高層マンションの耐震性能の診断の促進		いじま ただお 飯島 忠男
	23	●比較的狭い道路においては災害時(特に大地震発生時)にブロック塀や自動販売機等の倒壊、自宅前の駐車車両の移動等により道路が閉鎖されて避難が困難になる恐れがある。	●狭い道路に面した駐車車両の移動防止(駐車時の車輪止め・チェーン等による移動防止) ●狭い道路に設置された自動販売機等の転倒措置の強化 ●道路上の電線路の強化(電空倒壊防止、電線の断線防止、変圧器・開閉機類の落下防止等) ●ブロック塀の倒壊防止措置(無鉄筋塀の撤去)		ささき しげる 佐々木 繁
高齢者・ 障害者の暮らしやすい街の 実現	24	●「システムの構築」にとって、地域力の強化は不可欠であり、そのためには最前線の町内会・自治会の加入率の向上と人材の発掘・育成が肝要 ●一方で行政と地域の連携の核となる地域包括支援センターの存在感・スキルアップも重要な課題 ●双方の観点に立って、実践的なアプローチによる解決策立案のための突っ込んだ調査・分析の実施	① 関係組織へのアンケート・ヒアリングの実施 ●地域包括支援センターの職員の生の声、民生委員、町内会、老人クラブなども ●「個人情報保護法」の制約問題も・・・ ② 他地域も含め成功事例の収集とノウハウの習得 ●町内会・自治会の会員獲得と人材発掘・育成の具体的な成功事例の収集・分析 ●地域での協働による成功実践例も。 ③ モデル地区を設け、成功事例づくりにチャレンジ ●地域、行政、地域包括支援センターの3者協働で特定地域でのケアシステムのモデル策定と実践。		なりかわ しんいち 成川 慎一
	25	●老人、子どもを含め、地域で見守る体制の充実、年々変わる情勢に合わせて、考え方を考えていく必要性。			にし の きょういち 西野 恭一
	26	●風の強い日など、ビル風対応へのボランティア活動の推進	●行政、福祉関係への協力要請		さとう れいぞう 佐藤 例蔵

		ちいき かだい かいけつ む きょうぎ じこう 地域の課題として、解決に向けて協議したい事項		ちいき かだい かいけつ あいであ 地域の課題を解決するためのアイデアや ほかに ちいき すで と く じれい 他の地域で既に取り組んでいる事例		いいんめい 委員名					
ぶんるい 分類		こうもく 項目		ないよう 内容							
27		あんぜん あんしん さらに安全・安心なま ちをめぐり		さぎ ひったくり 空き巣 交通事故 震災 高齢者増 老々 介護 震災時避難等々、地域での心配事は尽きません。さ らなる防止策は不可欠と考えます。		じょうほうてい ため ちやうないかい じちかい かにゆうそくしん ●情報徹底の為に町内会・自治会への加入促進 こうれいしゃひとりぐ ちやうろくかいごしや まつぷ ●高齢者一人暮らし、老々介護者のマップづくり きんきゆうひなんじよ そうきゆう こうちく ●緊急避難所の早急な構築		おの すぐる 小野 偉			
28		こうれいしゃ あんしん す 高齢者が安心して住 めるまちづくり		かわさきし なか さいわい こうれいか すず とく どつきよ ●川崎市の中でも幸区は、高齢化が進んでいる。特に独居 こうれいしゃ こうれいしゃふうふ せたい せいかつ ふくし いりよう かいご 高齢者や高齢者夫婦の世帯などの生活、福祉、医療、介護 など じゅうじつ しているのだろうか。あるいは、それらの情報が しゅうち 周知されているのだろうか。あるいは、十分に利用されてい るのだろうか。		く ない せつび せいど そしき しら ●区内でどのような設備、制度、組織があるかを調べ、分 かりやすくまとめる。 こま まどぐち こうほう おこな ●困ったときの窓口はどこか、広報を行う。 かくだんたいかん れんけい と あ ●各団体間が、連携を取り合っているか、あるいは、どの ような取り組みをしているかを調べる。		あおき はるひこ 青木 晴彦			
29		じゅうみんさんか 住民参加による こりつ こどくし ぼうし 孤立・孤独死の防止		せたいこうぞう へんか にんげんかんけい きはくか なか こうれいしゃ ●世帯構造の変化や人間関係の希薄化の中で、高齢者の こりつ こどくし しゃかいもんだい 孤立死を防止す るには きんりんじゅうみん しゅうごじゅうたくかんりしや みんせいいいん じどう 近隣住民、集合住宅管理者、民生委員、児童 いん しゃかいふくしきょうぎ ちいきほうかつしえん せん た 一 委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、 らいふライン事業者等の関係団体の情報共有や こみゆにけーしょん きんみつか ひつよう コミュニケーションの緊密化が必要になるでしょう。		だい き みまも ていげん べーす ●第4期の「みんなで見守りたい」の提言をベースにした とり組み おこな 取組を行う。		ならばやし てるえ 榎林 照江			
30		ちいきこみゆにてい 地域コミュニティの れんけいきょうか 連携強化		さいきんちく ない だんたいなど さんか ひと げんしょう ●最近地区内の団体等の参加する人が減少している。特 やくいん て かくだんたい こうれいか しんてん そしきかつどう に役員のみならず各団体の高齢化が進展し、組織活動 かつりよく うしな の活力が失われてきている。		ちいき とのつながりを取り戻し、コミュニティの再生を目指 ちいき いべんと かつせいか そくしん し地域のイベントの活性化を促進するため、町内会、 じちかい びーていーえーなど だんたい きょうどう せだいかん こうりゅう すず 自治会、PTA等の団体と共同で世代間の交流を進め る。		かみや おさむ 神谷 修			
31		ちいきこみゆにてい 地域コミュニティの れんけいきょうか 連携強化		だい き みまも おも こうれいしゃ たいしやう ●第4期の「みんなで見守りたい」は、主に高齢者を対象とし とく つぎ ちいきじゅうみんぜんたい みまも かんけい た取り組みなので、次に地域住民全体で見守りあえる関係 をかんが 考えたい。		じんざいいくせい とく だんかい せだい ちいき かつどう しく ●人材育成。特に団塊の世代が地域で活動できる仕組み はばひろ せだい あつ いばしよ ちやうないかい ●幅広い世代が集まれる居場所(いこいの家、子ども文化 せんたーなど りようほうほう センター等の利用方法)		むらた せいこ 村田 清子			
32		ちいきこみゆにてい 地域コミュニティの れんけいきょうか 連携強化		きやうどうじゅうたく あさゆうつうろく あ あいさつ ひと ●共同住宅において、朝夕通路で会っても挨拶しない人が おおぜい 大勢いる。		ちやうないかい じちかい ●町内会、自治会などで、おしゃべり会を月一回設ける		さとう れいぞう 佐藤 例蔵			
33		ちいきかつどう せだいかん 地域活動での世代間 かくさ かいしょう 格差の解消		ちいきかつどうなど せだいかんかくさ かん なにごと じゅうぜんとお おこな ●地域活動等での世代間格差を感じる。何事も従前通り行 ねんばい かつ じだい へんか おな こと じゅうぜんとお おこな いたい年齢の方、時代が変化し同じ事を従前通り行ってい たのではと かんが せだい ぎ やつ ぶ ちやうないかいなど 考える世代とのギャップを感じる。町内会等の やくいん たいへんこうれい だいいせんばい げんざい おや も かんかく 役員は大変高齢で大先輩であるが、現在の親が持つ感覚 りかい なにごと じゅうぜんとお め だ が理解できないのか、何事も従前通りが目立つ。		ちやくせつ い げんか い か じだい ●直接これと言ってしまうと喧嘩になるので、如何に時代 が変化して、激変消滅と言うような時代の中で生活し、 こ おや ごらく たの たしゆたよう ちやうないかい 子どもたちも、親も娯楽や楽しみが多種多様な価値観の なか はくく もの な じだい たの たの 中で生まれ、物の無い時代には楽しかったことが楽しく ないと感じる。それぞれの地域で話し合える機会やきつ かけを作る場の提供。		あべ のりひろ 阿部 法弘			
34		だんかいせだい ちいき 団塊世代の地域 かつどう さんかそくしん 活動への参加促進		りたいたあ じき ちいき きぞくいしき も いただ ●リタイアをする時期に、地域への帰属意識を持って頂けた ら活性化につながるのでは…と。 ふくし かん こんご ちいきほうかけ あ む ●福祉に関しても今後、地域包括ケアに向かっていきます。 あいであ あたら かつどう ていあん アイデアや新しい活動の提案をしていかなければなりません いまま けいざいしやかい み お かつがた けいけん ひつよう ので、今まで経済社会に身を置いていた方々の経験も必要 かんが と考えています。		ちやうないかい じちかい など しげんかんしゅう そうちか ほうこく ●町内会・自治会等の資源回収は、数値化して報告されてい るが、家庭ゴミはその仕組みが無い。ゴミの排出量を見え か そうちか かくかてい もくひよう も げんりよう る化(数値化)すれば、各家庭でも目標を持って減量・ りさいくるか すす かんが リサイクル化が進むと考えられる。		いとう よしみち 伊藤 善通			
35		ちいきこみゆにてい 地域コミュニティの れんけいきょうか 連携強化		りたいたあ じき ちいき きぞくいしき も いただ ●リタイアをする時期に、地域への帰属意識を持って頂けた ら活性化につながるのでは…と。 ふくし かん こんご ちいきほうかけ あ む ●福祉に関しても今後、地域包括ケアに向かっていきます。 あいであ あたら かつどう ていあん アイデアや新しい活動の提案をしていかなければなりません いまま けいざいしやかい み お かつがた けいけん ひつよう ので、今まで経済社会に身を置いていた方々の経験も必要 かんが と考えています。		かていごみ しゆるい ようりやう もと そうちか でき しく ●家庭ゴミの種類や容量を元に数値化出来る仕組みを ちやうさけんきゆう 調査研究する。		いとう よしみち 伊藤 善通			
36		ちいき 地域における エコ活動の えこかつどう 推進		ごみ ぶんべつ げんりよう ゴミの分別・減量・ りさいくる リサイクル		わんらんく しげんごみ だ かつ ちやうろく げんりよう ●ワンランクUPの資源ゴミの出し方でゴミの減量につなげる。		ぶんべつ ていやく おも つぎ げんりよう ●分別は定着してきていると思うので、次は減量につな あ い であ かんが がるアイデアを考えていきたい。 こんかいいいん なか かつ ●今回委員さんの中に CC さいわいの方がいらっしやるの なに さんこう き で何か参考になることが聞けるのではないのでしょうか…。		こんどう たえ 近藤 多恵	
37		ちいきこみゆにてい 地域コミュニティの れんけいきょうか 連携強化		だい き かだい あ しんとう おも いま ●第3期で課題として挙げて、かなり浸透していると思うが、今 すこ お すず ないよう 少し、押し進める内容がある。 こじんたく ぶんべつ すず あ ぼーと しょうせたい ●個人宅では、分別も進んでいるが、アパート、小世帯 まんしょん たんしんしや かんが すこ ちが おも マンション、単身者では、考えが少し違うと思う。 ぶらすちつく しゅうしゅう りさいくる まーく な あつ プラスチックの収集をリサイクルマークの無いものでも集め ほうそうようき たしやうよご あつ ぎやうせい はたら る、包装容器も多少汚れていても集めるなど、行政に働き かける。		にしの きやういち 西野 恭一					

分類	地域の課題として、解決に向けて協議したい事項		地域の課題を解決するためのアイデアや 他の地域で既に取り組んでいる事例	委員名
	項目	内容		
38	地域における エコ活動の 推進	● 温暖化防止等地球環境保全が問題視されています。 省エネ、資源活用、緑化促進は重要。また、たばこポイ捨て、粗大ごみ放置等身近な環境改善も大事な課題と考えます。	● エコライフ／環境家計簿の奨励 ● 空き公地を活用した植樹緑化／喫煙エリアの設置 ● 余った物の有効活用(リユースシステム／マーケット) ● 加瀬山／緑道の保全	おの すぐる 小野 偉
39	青少年の 健全育成等	● 最近の子ども達は自己中心的であったり、自分の気持ちを発見できないように思います。思いやり、優しさ、協調性、自立性が無い為に、いじめや暴力などが多発しています。	● 幸区の子ども会は色々な体験(生活、社会、自然)などを通して、仲間関係や人と人との繋がりの中で、豊かな心が育まれていくように活動しています。 ● 川崎市の子ども会では、育成者の方々に、子ども達がいじめや暴力を防ぐことができるよう、基本的な人権「安心」「自信」「自由」を守り、支援する為の研修会を行いました。 ● 子ども達が安心して、自由に発言出来る場、環境づくりとして、地域でも子ども達と楽しく接する機会を沢山もち、親睦を深める事も、純粋な子ども達の気持ちを再発見する事ができ、今後、子ども達が安心して気軽に私たち(大人)に相談できるのではないのでしょうか。	ふじい てるみ 藤井 照美
40	思いやりのある心豊かな人づくり、まちづくり	● いじめ、批判、虚偽、隠ぺいなど、道に外れた行為が多く感じます。弱者をいたわる心、素直に感謝する心を持ちたい。永遠のテーマ。まず一歩から。	● 地域のゴミ拾いボランティア活動の定期化 ● 介護施設等への見学・慰問・体験実習 ● 専門講師による講演(学校／町内会／自治会／区民集客)	おの すぐる 小野 偉
41	地域の魅力発信	● 幸区には、「夢見ヶ崎動物公園」「多摩川・矢上川」「東芝科学館」「ラゾーナ川崎プラザ」「ミューザ川崎シンフォニーホール」などの魅力スポットがある。情報発信をきめ細かく提供するとともに、回遊ルートを整備するなど、来街者を増やす努力を進める。	● 施設の整備、回遊ルートの安全安心性の確保、ルート上の休憩スペース、おしゃれなカフェ・レストランの誘致などを積極的に実施して、来街者を誘致するために、観光協会・商店街など関係機関と連携する。	かみや おさむ 神谷 修
42	地域の魅力発信	● 幸区の資源として、多摩川の堤防グラウンド、比較的大きな地区公園、科学技術の商業施設、地域の特色を生かした商店街や町内会の各種行事等がある。それらを活用して人集めの企画を発信する事により、まちの活性化に繋げる	● 幸区の特徴を生かした各種資源を発掘し、それらを生かせられないか調査研究し、利用しやすい状況で発信する。 ● 幸区内で利用できる共通商品券を発行し、割引価格で販売したり、各種行事の景品に使用したりして、商店街の活性化に繋げる。	いとう よしみち 伊藤 善通
43	交通アクセスの向上	● 川崎駅に行くバスは多数あるが、区の中を移動する場合には利用しづらい。	● 市バスを増やしてくれれば…。	たかはし のぞみ 高橋 希